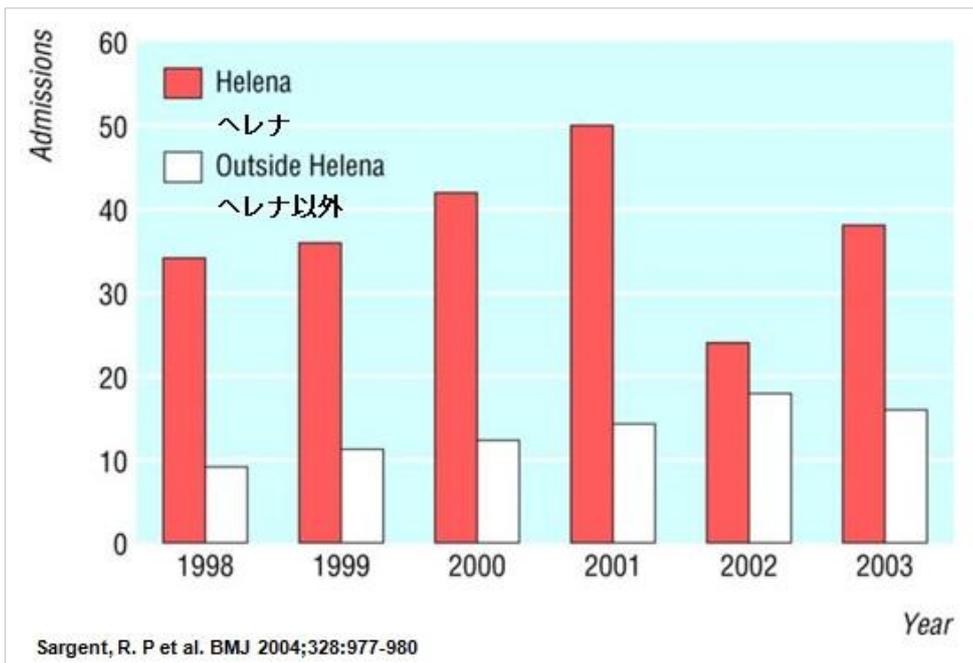


# 週刊 タバコの正体

前回、『喫煙は、あなたにとって心筋梗塞しんきんこうそくの危険性を高めます。』という警告がタバコのパッケージに掲載されている訳を知ってもらいましたね。今回はその証拠のような事例を紹介します。

今から14前、アメリカのモンタナ州ヘレナ市という人口約6万人の町で“心筋梗塞”の患者が減少したことがありました。下の色付きグラフがヘレナ市における心筋梗塞の入院患者を、白いグラフはヘレナ市周辺の入院患者を示しています。



白いグラフは毎年少し増加しながら大きな変化がないのに対し、色付きグラフは2002年に急激に減っているのがわかりますよね。じつは、この年ヘレナ市では職場と公共の場所を禁煙にする条例が施行されたのです。公の場所でタバコの煙がなくなるだけで、こんなに心筋梗塞の患者が減ったのです。

条例が実施されたのは、この年の6月から12月までの半年間だけだったそうです。だから、翌年(2003年)には、心筋梗塞の患者が増えています。

さらに、ブラジルのサンパウロ州でも2009年8月から施行された公共施設内の喫煙を禁じる禁煙条例によって同じように心筋梗塞による死亡者と入院患者が減ったという報告があります。サンパウロ総合大学医学部心臓研究所の調査によると、条例発行後17カ月間で死亡者は12%、入院患者は5%減少した事が判明したそうです。

このように公共の場所での喫煙を禁止すれば、心筋梗塞が減るとい現象が実際に起きています。これは、公共の場所からタバコの煙がなくなれば人々の健康被害を少なくできる事も証明していると言えます。これから成人を迎える皆さんには、是非この事を理解しておいて欲しいと思います。

産業デザイン科 奥田 恭久